

## 「新年におもう」

あけましておめでとうございます。



理事長 船越 昇

会員みなさまにはお元気で平成18年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平素は当センターの運営にご理解、ご協力を賜り、心から感謝いたしております。

皆様方のご尽力のお陰で、センターの業績は大変順調に推移しております。

会員数は、平成17年10月段階で280人と1年前より24人増え、4～10月の累計

契約高は4571万円と前年同期間を36%上回りました。この仕事を延べ1万人の会員が分担して処理しました。73%に当たる207人の会員に何らかの仕事をしてもらっています。

就業中の事故は昨年もほとんどなく、顧客とのトラブルもなかったことは、とてもありがたいことでした。

組織面でのトピックスは、昨年秋に待望の地域班が発足したことでした。

地域班は、会員とセンターの情報伝達のパイプ役を果たすという役目だけでなく、これからのセンターの重要事業に位置づけている老人介護や子育て支援など、地域に密着した仕事を推進するという重要な役割を期待しています。

仕事の種類別につくっている職域班と共に、センターを動かす車の両輪といえます。今後の活動を期待しています。

会員の増強、新規就業先の開拓など、シルバー人材センターがかかえている課題は山積しています。

さしづめ平成18年に解決しなければならない問題の一つに事務所の移転があります。

けいはんなホテルに隣接している現在の事務所は、家主である独立法人・都市再生機構の事情で近々引っ越さなければなりません。新しい事務所については精華町に依頼して物色中してもらっています。近くお知らせできると思っています。

仕事以外に、遊びや学習の分野でも会員相互の結びつきを深めていきたいと願っています。

昨年はじめた「ふるさと案内人」養成講座や、会員が製作した作品を展示した「文化展」は会員の支持があり、盛り上がりました。今年は会員の親睦を図るために日帰り旅行などを計画しています。

センターは会員のための、会員による組織です。センターを会員皆様方の生きがいがづくりの場に活用していただけるよう、役職員一同今年もがんばります。

## 理事会等のうごき

第3回理事会(9月2日)

全議案を承認

- 会員の入会者の承認
- 17年度第3次補正予算(案)

第4回理事会(12月2日)

全議案を承認

- 会員の入会者の承認
- 17年度第4次補正予算(案)
- 短期借入金の承認を求めることについて
- 配分金見積基準の決定について

